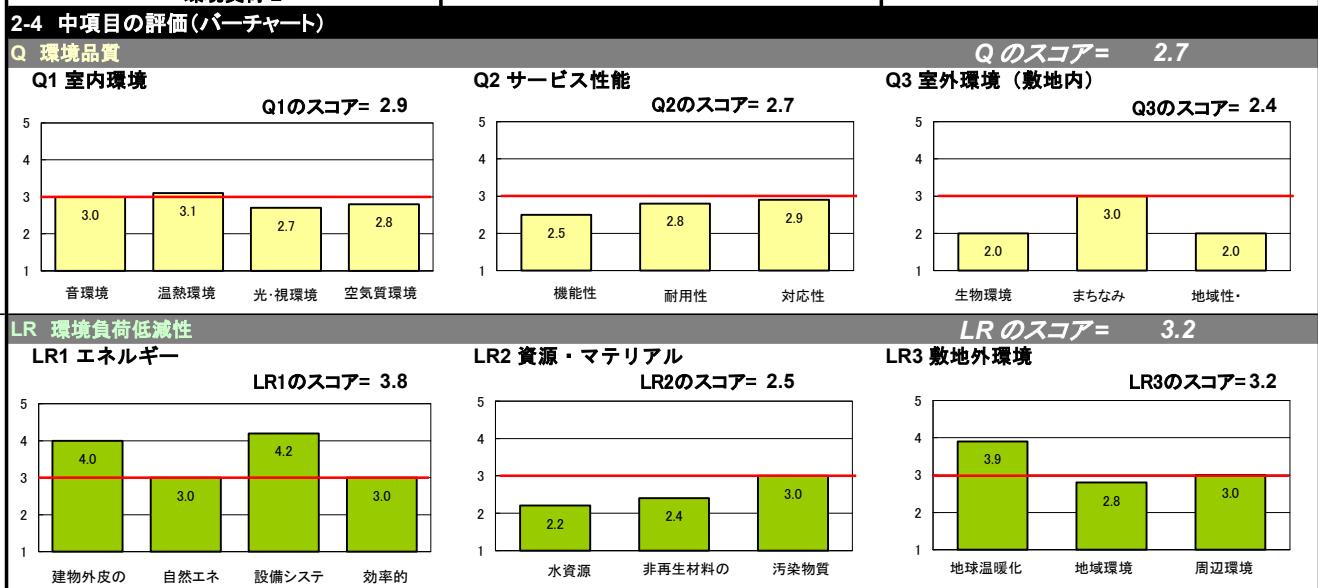
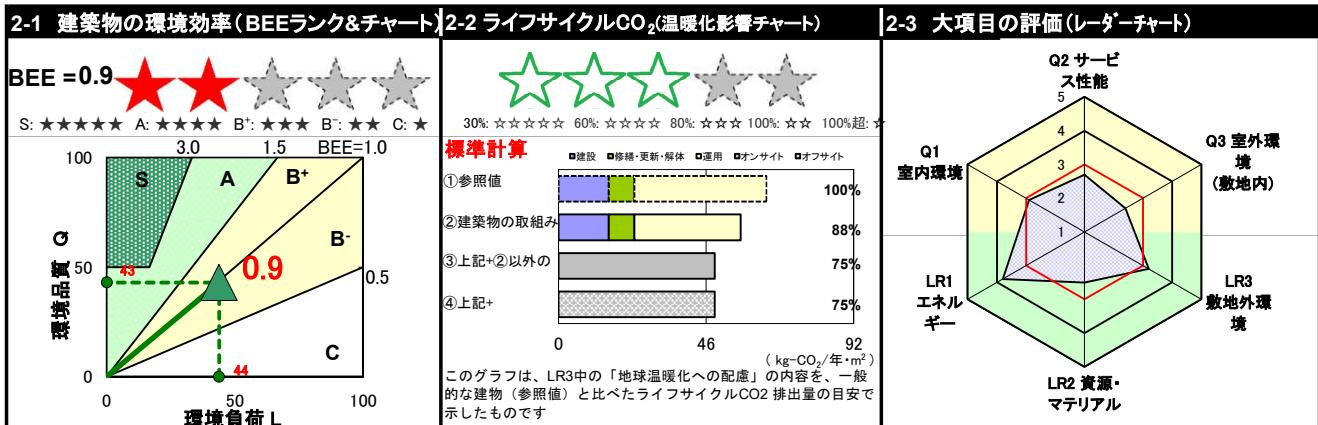




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新石川三丁目マンション新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市青葉区新石川三丁目35番20、21、22、23、26	構造	S造
用途地域	準防火地域、一種住居、一種低層	平均居住人員	84 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年6月16日
敷地面積	1,783 m ²	作成者	積水ハウス株田園都市シャーメゾン
建築面積	850 m ²	確認日	2025年6月16日
延床面積	2,477 m ²	確認者	積水ハウス株田園都市シャーメゾン



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
ゆとりのある空間と緑化計画を行い、利便性・居住性の良い住環境を提供し、入居者が快適に過ごすことが出来る設計とした。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
各住戸高断熱アルミ樹脂複合サッシ・LOW-Eガラスを採用しており、外皮断熱等級4以上を満たしている。	階高2.9mとゆとりのある空間を提供している。	敷地内に緑化計画を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能等級5相当以上。 太陽光発電設備を設置し各住戸に送電することにより、一次エネルギー消費量削減に努めている。	特になし。	広告物照明の設置等なく、近隣への配慮がされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

受付日 2025年6月30日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)新石川三丁目マンション
新築工事

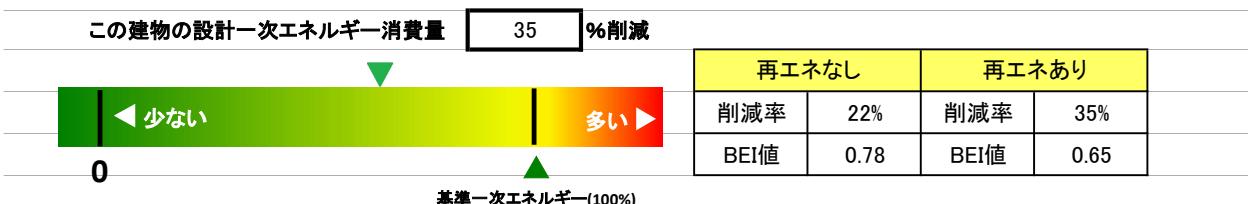
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

断熱性能等級5相当

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級

等級5

(相当)

※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑰部品・部材の耐用年数向上 ⑯信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑯生物環境 ⑯まちなみ・景観 ⑯地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入

— — —



スコアシート

配慮項目	重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質			-	-	-	-	2.7
Q1 室内環境			-	0.40	-	-	2.9
1 音環境			3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音			3.0	0.50	3.0	0.50	-
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音			-	-	-	-	-
2 溫熱環境			2.2	0.35	3.3	1.00	3.1
2.1 室温制御			2.2	0.50	3.7	0.50	-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	1.0	0.38	5.0	0.38	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	3.0	0.20	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30	-
3 光・視環境			2.0	0.25	3.0	1.00	2.7
3.1 昼光利用			1.8	0.30	2.0	0.50	-
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	1.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	3.0	0.30	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策			1.0	0.30	4.0	0.50	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境			3.0	0.25	2.7	1.00	2.8
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-
4.2 換気			3.0	0.40	2.3	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	1.0	0.33	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理			-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.7
1 機能性			2.2	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	3.0	1.00	-	-
3 パリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	3.0	0.50	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震			3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災	⑯耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	防災	⑯耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.30	-	-	-
1 軟体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性			2.2	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			-	-	2.8	0.50	-
1 階高のゆとり			-	-	4.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ			-	-	1.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-

	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	2.4
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑯生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑯まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑰地域性への配慮	1.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑯敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性					-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	4.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			4.2	0.50	-	4.2
集合住宅以外の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	-	-	-	-
集合住宅の評価	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.2	1.00	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	2.5
1 水資源保護			2.2	0.20	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-
2 雜排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-
1 消火剤			-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			3.9	0.33	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-
2 振動			-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-

上記以外の重点項目			-	-	-	-
<事務所用途>			-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑯知的生産性向上への取組	-	-	-	-
<住宅用途>			-	-	-	-
健康と安心			-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-